

全期財政状況



一般会計・特別会計の状況

市有財産の状況

平成14年度の各会計ごとの収入額、支出額、差引額は下表のとおりです。

会 計		収 入 額	支 出 額	差 引 額	区 分	現在高
一	般 会 計	1,159億3,272万円	1,143億3,615万円	15億9,657万円	土 地	444万8,677.68㎡
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	260億8,965万円	251億5,074万円	9億3,891万円	建 物	80万2,540.24㎡
	下水道事業会計	126億7,918万円	119億5,944万円	7億1,974万円	物 権	1,122.51㎡
	忠生土地区画整理事業会計	19億5,192万円	19億4,802万円	390万円	備品(取得価格50万円以上)	2,887台
	駐車場事業会計	2億9,370万円	2億8,052万円	1,318万円	積 立 金	218億8,966万円
	老人保健医療事業会計	244億6,663万円	242億2,727万円	2億3,936万円	有 価 証 券	7,660万円
	鶴川駅北土地区画整理事業会計	10億 212万円	9億9,877万円	335万円	出 資 金	32億9,718万円
	介護保険事業会計	135億 449万円	135億 351万円	98万円	貸 付 金	1億 39万円
	受託水道事業会計	48億4,770万円	48億4,770万円	0万円	無体財産権(商標権・実用新案権)	23件

(万円未満四捨五入)

(万円未満四捨五入)

市債の状況

市債とは都市計画道路・公園・下水道・学校など大規模な公共施設の建設の財源として市が借り入れるお金で、その返済が長期にわたるものをいいます。

こうした施設は、長期にわたり利用することができますから、建設時の市民だけでなく、将来の市民にもその経費を負担してもらうことが公平でもあるわけです。市債には、このような積極的な意義を持つものですが、借金であることに変わりなく、その運用には十分注意しなければなりません。

会 計	元 金 残 高	将来負担利子見込額
一 般 会 計	736億2,220万円	117億 7万円
下水道事業会計	500億5,694万円	181億2,686万円
病院事業会計	106億7,825万円	31億3,055万円
合 計	1,343億5,739万円	329億5,748万円

(万円未満四捨五入)

企業会計【病院事業会計】

平成14年度の市民病院の利用状況は、入院患者数が対前年度比1.3%減、外来患者数が対前年度比4.5%減で、料金収入で3.7%前年を上回りました。

費用では前年度の4.1%増で、決算の結果は2億4,340万円の純損失となり、当年度未処分利益剰余金は7億3,039万円となりました。

病院事業会計の利用状況と料金収益等の状況は下表のとおりです。

利用状況と料金収益

(税抜き)

		患 者 数	料 金 収 益
入	院	127,291人	51億3,161万円
外	来	343,089人	36億 506万円

収入・支出の状況

(税込み)

		収 益 的 収 支	資 本 的 収 支
収	入 額	107億6,595万円	8億1,233万円
支	出 額	110億 231万円	10億8,343万円

(万円未満四捨五入)

市民一人当たりの市税負担額・還元額

市民の皆さんが納めた税金は、ごみ処理・道路・下水道・公園等の都市基盤整備、児童・高齢者福祉施設や教育文化施設の整備、防災まちづくり等と様々な事業に使われています。平成14年度における市税収入額を人口で割ると市民一人当たりの市税負担額が、一般会計歳出額を人口で割ると市民一人当たりの還元額が算出されます。

市民一人当たりの市税負担額 16万3,258円

市民一人当たりの還元額 28万8,525円

[人口：396,278人
2003年4月1日現在]

各目的別に市民一人当たりの還元額を示すと次のとおりです。

議 会 費 1,537円	総 務 費 42,014円	民 生 費 86,849円	衛 生 費 29,219円	労 働 費 192円	農 林 費 566円
商 工 費 3,926円	土 木 費 42,856円	消 防 費 11,755円	教 育 費 50,759円	公 債 費 18,852円	